

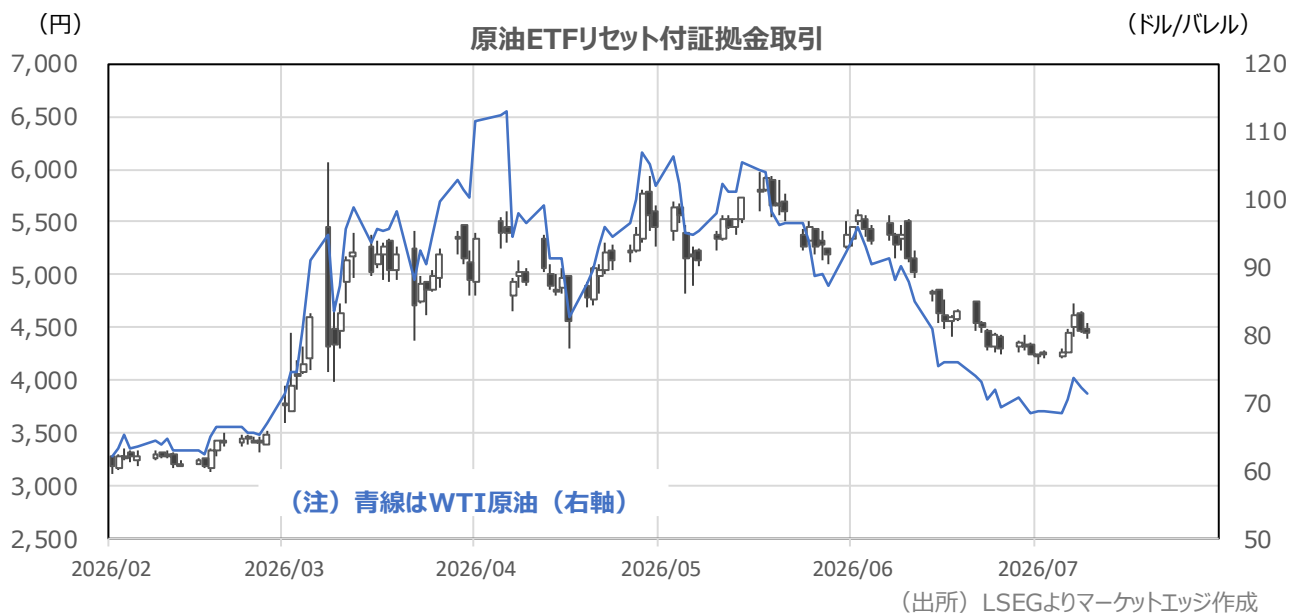
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/07/13号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



中東情勢不安定化で反発

NY原油先物相場は、1バレル=67.04ドルをボトムに76.08ドルまで切り返した後、71ドル台中盤まで上げ幅を縮小する不安定な地合になった。供給環境の改善見通しを背景に大きく値を崩していたが、中東情勢の不安定化で下げ一服となった。7月7日にホルムズ海峡付近で複数のタンカーが攻撃を受け、米軍はイランに対する「報復」攻撃を行った。それに対してイランは周辺湾岸諸国の米軍基地を攻撃するなど、緊張が高まった。ただし、本格的な戦争再開、ホルムズ海峡封鎖といった動きには発展しないとの見方が優勢になると、戻りを売られる展開になった。

トランプ米大統領は、イランとの戦闘終結の覚書について「終わった」と発言した。しかし、10日にはイランからの要請を受けて協議を継続すると発言している。ただし、イランは協議継続の要請は行っていないとするなど、情報が錯綜した状態にある。このため原油相場も不安定化したが、米国とイランがともに本格的な軍事衝突は望んでいないとの見方から、原油相場の上昇は2営業日で一服した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（7月3日時点）は、原油が前週比300万バレル増、ガソリンが190万バレル減、石油精製品が498万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

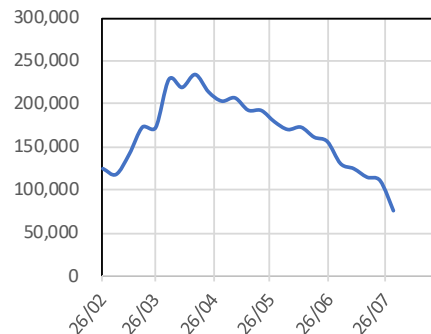
中東情勢不安定化も、戻りは売られやすい

前週は中東情勢の不安定化から5週間ぶりに値上がりしたが、先高観は乏しい。米国とイランが改めて本格的な軍事衝突に向かい、ホルムズ海峡が再封鎖されると、原油相場は急伸するリスクもあった。しかし、米国とイランの双方が自制を見せており、現状ではホルムズ海峡の再封鎖はメインのシナリオではない。軍事的な緊張の高まりを受けて、ホルムズ海峡周辺の船舶の航行にも影響が生じたが、徐々に供給環境は改善に向かう可能性が高い。

国際エネルギー機関（IEA）は7月10日に発表した月報で、6月の世界石油在庫が前月比2,100万バレル増と、戦争勃発後に初めて増加に転じたことを報告している。供給環境の改善で供給過剰が発生し、さらに在庫の積み増しが進むのであれば、戻り売り優勢の地合が維持される可能性が高い。すでに大きく値位置を切り下げていること、期近限月に対して加算されたプレミアムがほぼ解消されているため、大きく値を崩す可能性は低下している。ただし、供給余剰で在庫積み増しが続くのであれば、改めて70ドルを割り込み、下値を切り下げるリスクも想定しておく必要がある。

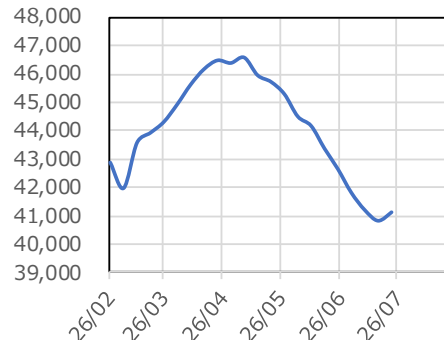
注意が必要なのは、中東情勢が改めて不安定化していることだ。米国とイランの間で軍事的な緊張が高まり、ホルムズ海峡の再封鎖が警戒される状況になると、改めて75ドル水準を試す可能性は残されている。また、原油需給の緩和が進む一方で、ガソリンやディーゼルなど石油製品の需給ひっ迫が続いている。ロシアは、ウクライナ軍の製油所攻撃の影響もあってディーゼルの輸出が禁止されるなど、混乱が続くやすい。石油製品相場の大きな上昇がみられると、原油相場がつかれ高する可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



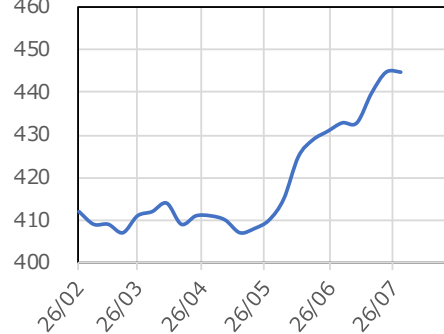
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

